

## 令和7年度 八幡小学校に関するアンケート（前期）結果 及びアクションプランの進捗状況について

富山市立八幡小学校  
校長 高島 恭子

日頃より、本校の教育活動の推進に温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様におかれましては、7月中旬に「八幡小学校に関するアンケート（前期）」にフォーム回答していただき、ありがとうございました。おかげさまで、ご家庭や学校行事の場におけるお子さんの様子や学校の体制について、忌憚のない評価とご意見を頂くことができました。

つきましては、本校のアクションプランの進捗状況と併せて考察しましたので、ご覧ください。アンケートについては同じ質問項目で児童が回答した結果も、並べて示しています。

### 1 八幡小学校に関するアンケート（前期）の結果について

■ Aよく当てはまる ■ Bだいたい当てはまる ■ Cあまり当てはまらない ■ D全くあてはまらない

1	学校が楽しい。	児 童	64.7	33.8	10.3	0.2
		保 護 者	41.7	52.1	6.3	0.0
2	授業がおもしろい、または内容がよく分かる。	児 童	42.6	47.1	7.4	2.9
		保 護 者	18.8	58.3	22.9	0.0
3	自分に合った目当てを立て、学習に取り組んでいる。	児 童	41.2	51.5	7.4	0.0
		保 護 者	20.8	47.9	31.3	0.0
4	進んで学習に取り組んでいる。	児 童	47.1	39.7	10.3	2.9
		保 護 者	29.2	33.3	35.4	2.9
5	自分にはよいところがある。	児 童	33.8	50.0	11.8	4.4
		保 護 者	6.3	81.3	10.4	2.9
6	友達にはよいところがある。	児 童	91.2	7.4	0.0	0.0
		保 護 者	27.1	62.5	10.4	0.0
7	思いやりの心をもって、行動している。	児 童	48.5	42.6	8.8	0.0
		保 護 者	27.1	64.6	8.3	0.0
8	家族や友達、地域の人に対して、自分から進んで挨拶ができている。	児 童	51.5	36.8	5.9	5.9
		保 護 者	22.9	52.1	25.0	0.0
9	目当てを立て、進んで運動に取り組んでいる。	児 童	52.9	32.4	8.8	5.9
		保 護 者	22.9	56.3	18.8	2.9
10	病気やけがのないように心がけている。	児 童	63.2	23.5	2.9	10.3
		保 護 者	22.9	62.5	10.4	4.2
11	いろいろなことに対し、最後までやり抜こうとしている。	児 童	55.9	36.8	4.4	2.9
		保 護 者	22.9	58.3	16.7	2.9

## 2 アクションプランの進捗状況について

### <よく考える子>

独自課題	国語科と算数科の「学習のたしかめ」において、各自が立てた目標点数を達成する割合を80%以上とする。	進捗状況	国語科	算数科
向上目標	自分の力を見極め、自ら方策を考えて学習に取り組もうとする児童を増やす。		29.2%	43.1%

【結果】1学期は、国語科・算数科ともに達成しませんでした。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：2、3、4

昨年度、国語科と算数科の全ての単元末テストにおいて、「目標を立てる→計画を立てて取り組む→結果を分析する→取り組み方を見直し改善する」といったサイクルを重ねたことで、自分の習得状況を把握し、向上心を持って学習に取り組む児童が増えたという結果が得られました。今年度も各クラスにおいて各単元末テスト前に目標点数を決め、結果を分析することを行いました。ただし、昨年度は業者の作成した学期末テストを指標としましたが、今年度は県小教研が作成した「学習のたしかめ」の結果のみを指標としています。

結果は、国語科は達成率が29.2%、算数科が43.1%と目標を大幅に下回りました。また、学年間でも達成率に大きな差が生じました。これは、単元末のテストでは高得点であったので、「学習のたしかめ」の目標点数を高く設定したが、「学習のたしかめ」では、初見の文章や問題が取り上げられるので、思ったより点数が伸びなかったためであると考えられます。つまり、どのような問題が出てても対応できる汎用性のある力の育成が不十分であったと考えられます。

一方、アンケート項目2で「自分は授業が面白い、または、授業の内容がよく分かる・だいたい分かる」と回答した児童は89.7%、アンケート項目3で「自分に合った目当てを立て、計画的に学習によく取り組んでいる・だいたい取り組んでいる」と回答した児童は92.7%と高い割合を示しており、児童は意欲的に学習に取り組んでいることが分かります。

2学期は、自己選択、自己調整の観点を取り入れた学習を構想し、より主体的に学習する児童の育成を目指し、「もっとやりたい」「もっと知りたい」と一人一人が学ぶことの楽しさを味わえる授業を目指していききたいと思います。そうすることで日々の学習がより、生活に根差した、そして応用可能なものとなり、「学習のたしかめ」においても力を発揮できるのではないかと思います。

### <心ゆたかな子>

独自課題	学校評価アンケートにおいて、自主的な挨拶ができた と答えた児童の割合を、85%以上にする。	進捗状況	7月
向上目標	進んで挨拶をするよさを実感し、学校や家庭、地域の 人と温かい関係をつくっていかうとする児童を増やす。		88.3%

【結果】達成することができました。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：5、6、7、8

昨年度は、児童会主催の取組や全校道徳の実践を通し、全校的に挨拶をする姿が広まり、目標の80%を上回ったため、今年度は目標を85%に上げて取り組むことにしました。

結果は、アンケート項目8で「家族や友達、地域の人に対して、自分から進んで挨拶ができている・だいたいできている」と回答した児童が88.3%と目標を達成しました。これは、運営委員会が行っている「登校後に各教室を巡り挨拶をする」などの取組が全校の意識付けに繋がっているためだと考えられま

す。また、PTAと和合中学校との連携で行った「小中合同挨拶運動」、それに伴って学校とPTAが共同で取り組んだ挨拶標語の募集と掲示も児童の挨拶向上に寄与したのではないかと思います。

一方、同じ項目で保護者は達成率を75%としており、児童との認識の差が13.3%もあることが分かりました。このことから学校での取組が家庭や地域に繋がっていないことが推測されます。朝、児童玄関で教師から挨拶をしても挨拶がかえってこないときや照れ臭いのか友達同士出会っても挨拶をしない様子も見られます。いつでも誰にでも自然に挨拶できるには、豊かな体験活動を通して人と関わり、思いやりのある心を育むことが大切であると考えます。2学期には1学期の取組を継続するとともに、学習の成果や児童の得意なことを全校に発信する場を設けたり、各委員会で児童の発想や主体性を重視した集会や活動を行ったり、地域や本物から学ぶ八幡ふるさと学習を積極的に取り入れたりするなど、他者や地域との繋がりを意識した体験を通し、全ての児童が自分や友達、地域のよさを実感できることを目指します。

また、6月から2週に1回の割合で中活動に実施しているトークタイムでは、対話を通して子供たちは互いの考えに触れ、それぞれのよさや違いを受け入れようとしています。対話によって相手の意外な一面を知ることさらに、他者理解が深まっているのを感じます。2学期も継続して行い、より温かい関係を築いていく児童が増えていくことを期待しています。

#### <たくましい子>

独自課題	健康・安全・体力づくりに関する自分の設定した目標を達成した子供の割合を80%以上とする。	進捗状況	八幡健康7月
向上目標	自他の健康に関心を持ち、進んで体力づくりや安全なくらしづくりに取り組む児童を増やす。		62.8%

【結果】1学期は、達成しませんでした。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：9、10、11

昨年度は、怪我の件数を切り口とし、健康・安全なくらしを心がけ、自己管理できる八幡っ子を目指すことを目標としましたが、怪我の発生件数は減少したものの、そこから食や睡眠、運動や安全な環境づくりの大切さを実感し、自分の生活を見つめ直す取り組みにはつながりませんでした。そこで、今年度はゲンキッズの取組を基に自分で設定した健康に関する目標に1週間挑戦し、達成した回数が全校で80%を超えることを目指しました。

今回は、「八幡健康チャレンジ」と銘打って1週間取り組みましたが、メディアコントロール週間と重なったため、実施意識に大きな差があったように思います。アンケート項目10で「病気やけがのないように、健康で安全な生活を心がけている・だいたい心がけている」と回答する児童は86.7%と多く、健康に対する意識はかなり高いと感じますが、いざ実践となると児童によって差が見られました。そのような中でも、担任からの声掛けや保護者からの励ましが無効であったとの意見もありました。健康習慣の形成に関しては、声をかけて意識付けをしてもらえる人の存在が大きいです。

2学期は、1回目の反省を基に2回目の「八幡健康チャレンジ」を行います。さらに、学校保健委員会では、子供の実態や保護者アンケートの回答を生かしてメディアとの付き合い方をテーマに健康への理解を深めます。また、給食参観では栄養と健康との繋がりについて栄養士から話を聞くなど、保護者、教員、児童が連携して健康への関心を高める機会を設定します。運動面では元マラソン日本代表で世界大会にも出場された磯野あずささんをお招きし、運動に対する意欲と共に技能を高める場を設定します。いずれもその道のエキスパートの力をお借りし、実践意欲の高まりを期待したいと考えます。また、運動委員会中心に、遊び場や遊び方のバリエーションを増やしたり、得意技を紹介する場を企画して運動の楽しさ

に触れる機会を増やしたりしたいと考えています。そして自主的に健康習慣を身に付けようとする児童の姿を目指したいと思います。

#### <富山市の共通課題>

共通課題	12月までの出席率を98%以上とする。	進捗状況	4～7月
向上目標	元気に登校し、楽しく学校生活を送る児童を増やす。		98.01%

【結果】1学期は、達成することができました。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※特に関連する質問項目：1

アンケート項目1では「学校が楽しい・だいたい楽しい」と答える児童の割合は98.5%と大変高く、昨年度の同時期のアンケートと比べても増加しています。アンケート項目2では「授業が面白い、または、授業の内容がよく分かる・だいたい分かる」と回答する児童が89.7%、アンケート項目5では「自分には、よいところがある・だいたいそう思う」と回答する児童が83.8%、アンケート項目6では「友達には、よいところがある・だいたいそう思う」と回答した児童が98.6%という結果から、授業に満足を感じ、自己肯定感が高く、友達と温かく交流できることが学校の楽しさに繋がっているのではないかと考えます。そしてそれが高い出席率に結びついているのではないかと考えます。ただし、そう感じていない児童がいることもアンケートから見えました。一人一人どの児童も取り残さず、全ての児童が安心して登校できる学校を目指し、これからも保護者や地域と協働しながら児童の頭、心、体を育んでいきたいと思いをします。

### 3 その他の項目について

保護者アンケート項目12「学校は、家庭と連携・協力して、子供の支援・指導に当たっている・だいたいそう思う」と回答された割合は85.4%、項目13「学校は経営方針や学校の取組、子供の様子を適切に伝えている・だいたいそう思う」と回答された割合は87.5%でした。今年度は、学校だよりで学年それぞれの様子や校務を行う際に大切にしていることなどをお知らせすると共に、ホームページにて子供たちの様子をお伝えしています。2学期も子供たちの学校での様子をお伝えし、子供たちが今何に取り組んでいるのか、何に夢中になっているのかをできるだけアップデートでお伝えしたいと思いをします。ご家庭での対話のきっかけとしていただき、お子さんを励まし、応援していただけると教育効果もより高まるのではないかと期待します。

自由記述欄には、今年度の運動会の振り返りとして、保護者参加型の競技があつてよかったとの声をたくさん頂いております。これからも学校の行事に保護者や地域の方が参加し、ともに活動できるような社会に開かれた学校を目指していきます。記述欄に記入していただいたことは学校運営を見直すための大きなきっかけになります。また、寄せていただいた回答は教職員にとって励みになります。記述は大変かと思いますが、保護者がより学校運営に参画していただくよい機会でもありますので、気付いたことがあれば忌憚なくご意見を記入していただければと存じます。